

令和3年度佐野市市民活動参画支援事業実績報告書

事業名 こども食堂団体名 佐野西ライオンズクラブ

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要保護、準要保護の児童を養育する家庭への支援 ・ コンビニの惣菜や弁当等、撤去予定の商品を上記支援として消費期限内で提供し、フードロスの削減を図る
事業成果	<p>コンビニで撤去予定の惣菜や弁当等を、消費期限内で要保護・準要保護の児童を養育する家庭に提供しました。家庭の負担が軽減され、フードロスの削減にもなりました。</p> <p>また、生産者・事業者・民生委員・ボランティア等との協働により、環境活動への意識改革やSDGsに対する理解につなげることができました。</p>

【事業内容】



佐野西ライオンズクラブは、堀米町のやはた公民館にて「こども食堂事業」を行いました。スタッフとして、佐野西ライオンズクラブから9名、民生委員の方8名、ボランティアの方2名が参加しています。

活動計画は、月に1回実施する予定でしたが、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症が収束の兆しを見せず、実施できない期間もありました。それでも、支援を必要とする家庭に弁当等をお渡しできるよう、実施時期を十分に検討しながら行いました。



配布当日は、新型コロナウイルス感染症や衛生面を考慮し、換気を十分に行ったほか、テーブルの間隔を十分にあげ、ゴム手袋等を身に付けて品々をテーブルに並べました。また、弁当や総菜等は、保冷パックに入れて搬入しました。

毎回、かなりの数の弁当や総菜等を搬入するため、フードロスがいかに多いかを痛感する場面もありますが、支援を必要とする家庭に届けることができるので、やりがいを感じる時でもあります。

12月のこども食堂では、季節のイベントに合わせてクリスマスケーキも配布しました。ケーキを手にした子どもたちが笑顔で喜んでくれたのが印象的でした。



また、この活動を聞きつけて賛同していただいた農家の方が、たくさんのお米やサツマイモをはじめとした野菜等を寄付してくださいました。

写真にあります立派なサツマイモも、規格外であるために商品として出荷できないそうです。非常にもったいないことです。

このような穀物も、消費をされなければフードロスにつながります。

さらに、食料品だけでなく、様々な日用雑貨を配布した回もあります。こちら、企業が寄付してくださったものです。



こども食堂を行うことで、多くの家庭が支援を必要としていることがわかりました。

今後は、こども食堂を続けながら、子どもたちに勉強を教える場も作りたいと考えています。

最後に、新型コロナウイルス感染症の状況や食中毒等にも十分に気をつけながら、今後もボランティアとして参加している方々と連携を図り、事業を継続できるよう取り組んでまいります。